

協働学習支援ツールを活用し、状況やその変化に応じた着方を考え、工夫する学習

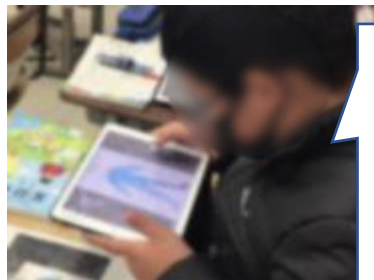
第5学年

暖かく快適に過ごす着方

こんな子どもたちの姿が生まれました!

- 活動場面や状況を想定し、それに合う衣服を選んだり、着方を考えたりすることができました。
- 仲間との交流で、状況の変化に応じた着方であるかを検討し、より快適な着方になるように工夫することができました。

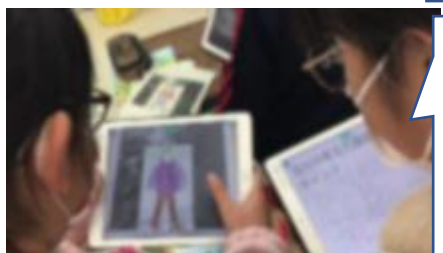
タブレット端末の活用による効果



寒い中での活動だから、重ね着をし、一番上には、風や雨を防ぐものを着よう。

協働学習支援ツールを用いて、自分の追究した過程を累積できるようにする。

- ・状況に合う衣服を選ぶ際に大切にすることを手書き機能やキーボードを活用して入力する。
- ・着方についての考えを学習プリントに書き、それを撮影し、提出する。



活動中の気温の変化に応じて、脱ぎ着しやすい服に変えよう。

送信機能等を用いて、仲間の考えた過程やその変化を把握できるようにする。

- ・交流する仲間が撮影した学習プリントを自分の端末に取り入れて確認する。
- ・特に伝えたい部分を拡大する等して、互いの考えが理解できるようにする。

教師の指導のポイント

- タブレットの多様な機能を活用し、互いの考えを可視化し、共有することで、状況に合う衣服の選択を見つめ直す部分を明確にしたり、着方をより具体的に考えたりすることにつなげていく。

協働学習支援ツールの活用による効果



大型提示装置を用いて、学習プリント等を映し、着目する部分を焦点的にしたり、考えを共有したりできるようにする。

- ・野外学習での様々な活動場面を映し出し、状況やその変化を想定できるようにする。
- ・学級全員の一覧や個別に仲間の考えを表示し、自分の考えと比較して捉えることができるようにする。

教師の指導のポイント

- 大型提示装置に映し出された画像から、野外活動中の状況やその変化を理解できるようにする。また、仲間が提出した学習プリント等から、着方の工夫のよさを見だし、自分の追究を深めていけるように方向付ける。